



NPO 法人

# ひろしま人と樹の会

会報 No. 272

□理事長 荒川 純太郎

□事務局 〒733 - 0852 広島市西区鈴が峰町 16 - 20 (中元明弘)

Tel&amp;fax 082 - 277 - 9490 E-mail: hiroshimahitotokinokai@yahoo.co.jp

□年会費 2,000 円 郵便振替 01360-4-29388 「ひろしま人と樹の会」

□編集責任者 古川ちひろ

## 本号の内容

### <セミナーのご案内>

1. 番外編現場セミナー  
竹林整備事業  
(10/21: 土)  
安芸高田市八千代町土師
2. 第 236 回現場セミナー  
クマとの共生柿もぎ体験  
(10/28: 土)  
安芸太田町戸河内上田吹
3. 現場セミナー  
「千里の森」の植樹祭とミカン狩り  
(11/3: 金・祝)  
尾道市山波町
4. 番外編現場セミナー 屋敷林整備  
(11/26: 日)  
三次市三良坂町大字三良坂字黒田 松島宅

### <セミナー等の報告>

1. 番外編現場セミナー 竹林整備 (パートⅡ)  
(9/8~11: 金~月)  
東広島市西条町福本
2. 番外編現場セミナー  
(9/10: 日)  
県民ハイキングと小室井山植樹祭
3. 番外編現場セミナー  
森のフェスティバルに参加して  
(10/1: 日)  
県立もみのき森林公園
4. 番外編現場セミナー 千里の森手入れ  
(9/23: 土・祝)  
尾道市山波町

&lt;事務局からのお知らせ&gt;

## ◆セミナーのご案内◆

### 1. 番外編現場セミナー 竹林整備事業案内 (10/21: 土) 安芸高田市八千代町土師

竹林の所有者から依頼を受けて竹藪化した竹林を適正な本数に整備する取組です。

整備で出た竹資源を竹炭やチップ化し堆肥などに有効活用します。

地元住民との協働作業を通じて地域活性化を図ります。

性別年齢は問いません。それぞれに見合った作業があります。

多数の参加をお待ちしています。

#### 1 日時

平成 29 年 10 月 21 日 (土)

9 時~16 時 (雨天中止)

#### 2 場所

安芸高田市八千代町土師 137-1

渡利慶子さん宅 (集合)

3 持参物

作業のできる服装、作業靴、軍手、タオル、  
弁当、お茶、お持ちの方はヘルメット、  
刈払機、草鎌

5 申込先

10 月 17 日（火）までに事務局（中元）へ  
TEL&FAX 082-277-9490  
mail:hiroshimahitotokinokai@yahoo.co.jp

4 参加費

500 円 （トン汁、保険など）

NPO 法人ひろしま人と樹の会事務局行 竹林整備申込書 FAX082-277-9490（中元）

名 前（年齢）	住 所	連絡先（電話）	備 考

## 2. 第 236 回現場セミナー クマとの共生柿もぎ体験 （10／28：土） 安芸太田町戸河内上田吹

平成 13 年度から取り組んできた「クマとの共生柿もぎ体験」は、今年で 15 回目（17 年 22 年中止）になります。

クマが餌を求めて人里に出没しない環境にするため、人家の近くにある柿の木から実をもぎ取ります。もぎ取った柿は格安の値段で分けていただきます。

地元の方々と一緒に紅葉の中で小さな秋を見つけ、楽しいひと時にしましょう！

参加年齢は問いませんご家族、知人、友人に声をかけ気軽に参加してください。

参加希望者は必ず事務局に名前(年齢)、住所、連絡先(電話番号)、柿希望箱数を申し込んでください。

申込みのない場合は、当日おいでになってもお断りします。

1 日時

平成 29 年 10 月 28 日（土）  
10 時～15 時（受付：9：30～）

2 集合場所

安芸太田町戸河内上田吹集会所  
（会場案内図参照）

3 活動場所

安芸太田町戸河内（上田吹）

4 内容

柿もぎ

5 日程

9：30 受付  
10：00 開会 オリエンテーション  
10：20 柿もぎ作業  
12：00 昼  
13：00 柿もぎ作業  
15：00 解散

6 募集人員

30 人

7 参加費

500 円（保険、トン汁等）

8 持参品

柿もぎのできる服装、軍手、など

9 柿のお持ち帰り

1 箱（ドライアイス付）2,000 円（要予約）

希望される場合は、参加申込の際、箱数も

記入してください。

10 申込先

10 月 20 日（金）までに事務局（中元）に FAX

かメールをお願いします。

FAX 082-277-9490

Mail: iroshimahitotokinokai@yahoo.co.jp



【平成 28 年 10 月 柿もぎの様子】



NPO 法人ひろしま人と樹の会事務局行 「クマとの共生柿もぎ体験」参加申込書

名 前（年齢）	住 所	電話番号	柿数量
			箱
			箱
			箱

※名簿については、事務局で適正に管理いたします。

### 3. 現場セミナー 「千里の森」の植樹祭とミカン狩り (11/3: 金・祝) 尾道市山波町

千里の森 (1.0ha) は、当会と森林ボランティア団体「千里の森プロジェクト」が共催で、**2015年**からヒノキの間伐や枝打ち植樹祭を実施した里山です。

今年、7月と9月にも共催でこの里山の間伐や枝打ち、草刈りを行いました今回は植樹とミカン狩りを計画しました。

地元住民や他の団体の方たちと一緒に花が咲き、実のなる木を植付けます。

午後からはミカン畑のオーナーのご厚意によりミカン狩りも計画しました。一緒に森づくりについて学び、楽しいミカン狩りを通して地域との交流を図りたいと思います。

皆さんの参加をお待ちしています。

(近くに駐車場有ります。) (略図参照)

#### 3 対象

森の手入れに興味のある方

#### 4 募集人員

20 名 (申し込みは先着順)

#### 5 参加費

500 円 (トン汁、保険など)

#### 6 持参物

作業のできる服装、作業靴、軍手、タオル、弁当、お茶、ミカンを入れる箱

#### 7 集合解散

現地集合・現地解散

#### 8 申込期限

10 月 20 日 (金) まで

事務局中元 TEL・FAX 082-277-9490

#### 1 日程

11 月 3 日 (金・祝) 9 時～15 時 (雨天中止)

#### 2 場所

尾道市山波町僧都東側山林



## 4. 番外編現場セミナー 屋敷林整備 (11/26:日) 三次市三良坂町大字三良坂字黒田 松島宅

今回の現場セミナーは、松島宅の屋敷林が繁茂し、風通しが悪くなっており、家の周りの木を伐ってほしいと要望があり実施する活動です。

①枯れた松の伐倒、②カシ類の伐倒、③伐倒木の処理などです。

性別年齢は問いません。

それぞれに見合った作業を用意いたします。

多数の参加をお待ちしています。

### 1 日時

平成 29 年 11 月 26 日(日) 9 時 30 分～15 時

### 2 場所

三次市三良坂町大字三良坂字黒田 1273

松島宅

### 3 集合場所

現地（三次市三良坂町大字三良坂字黒田 1273  
松島博宅）

### 4 持参物

長袖作業服、帽子、手袋、タオル、弁当、箸、お椀（お持ちの方はヘルメット、チェンソー、ナタ、ノコなど）

### 5 参加費

500 円(保険料など)

### 6 申込期限

11 月 22 日(水)までに事務局まで

TEL&FAX 082-277-9490

Mail:hiroshimahitotokinokai@yahoo.co.jp

NPO 法人ひろしま人と樹の会事務局行「松島宅」屋敷林整備 参加申込書

名前(年齢)	住所	連絡先(電話)	備考
( )			
( )			
( )			



## ◆セミナー等の報告◆

### 1. 番外編現場セミナー 竹林整備（パートⅡ） （9／8～11：金～月） 東広島市西条町福本

竹林整備は所有者から依頼を受けて竹林を消滅させる活動を昨年から実施している。

今年も第1回目を7月7日から10日の4日間実施した。今回2回目、残った竹林をパートⅡの活動として実施した。竹をチェーンソーや手ノコで伐採、直径6cm以上の竹は竹材として3mに切り竹炭や竹串、そうめん流し用の竹となどに利用する。約6cm以下の幹や枝などはチップーシュレッダー機で粉碎チップ化し堆肥として活用する。

作業は伐採班、運搬班、チップ班に分かれて行った。4日間で延べ27名、約800㎡の竹林を整備した。残り約200㎡。

#### ●9月8日（金）晴れ 5名

自動式チップー機の搬入。7月以降成長した竹の伐採から始める。人数が少ないので残っていた竹のチップ粉碎を優先する。真夏日の中、午後からは伐採も行った。地元荒垣さんからコーヒー、お菓子の差し入れ。

#### ●9月9日（土）晴れ 5名

チップー機2台の搬入予定であったが参加人数が少なく1台で対応する。道路にチップが飛散するため防止シートを設置する。2名1組で200本程度伐採、径の大きい根本は竹材として3mに切り仮置き、他はチップー機で粉碎した。今日も真夏日大汗を流しながらの作業となった。土地所有者の山本さんから栄養ドリンク、西本さんからはお菓子、また荒垣さんからはコーヒーの差し入れ。豚汁有り

#### ●9月10日（日）曇り 11人

作業広場も広くなり参加人数も多かったので伐採班、玉切り班、運搬班、チップ班に分かれて行い作業が随分進む。チップー機も順調に稼働、交替でフル回転、機械の威力が頼もうしい。日曜日、武内泰治君（高2）も参加してくれ参加平均年齢を大幅に若返らせる。地所有者の山本さんから栄養ドリンク、地元の荒垣さんからコーヒーとお菓子の差し入れ。豚汁有り。

#### ●9月11日（月）曇りのち雨 6人

午前中は道路側を中心にこれまで通りの伐採とチップー機で粉碎を行う。午後からは最終日であり現場片づけを行う。3時ごろから雨が降り出し、チップー機の搬出や現場の後片づけを雨の中で行った。土地所有者の山本さんから栄養ドリンク、地元の荒垣さんからコーヒーとお菓子の差し入れ。豚汁有り。

#### ●お礼

毎回差し入れをいただきます山本さん、荒垣さんそして西本さんありがとうございます。

元気の源となり感謝いたします。ありがとうございました。

地元からは「落ち葉の処理が少なくなり助かる。風通しがよく陽がよく差し込み部屋が明るくなった。冬場に道路が凍結し通学できなくて他の道を利用していたが通学路として復活できる子供たちも喜ぶ。」と喜ばれている。

報告者：櫻井充弘



【整備前の竹林の様子】



【9月11日現在 わずかに残る竹林】



【7月の手入れ後に成長した竹を刈る】



【2名1組で安全に伐採】



【自走チッパー機で粉碎（飛散防止のシート）】



【伐採運び出しの様子】



【チッパー粉碎の様子】



【9日集合写真】





【3mの長さに切断し竹材として利用】



【10日（日）集合写真】



【少人数のチップパー機粉碎状況】



【チップパー粉碎処理と朝日がよく当たる住宅】

## 2. 番外編現場セミナー 県民ハイキングと小室井山植樹祭

- 1 山 行 日 平成 29 年 9 月 10 日(日曜日) 日帰り
- 2 山 域 県立もみのき森林公園 小室井山 (廿日市市 1,072.1m)
- 3 参 加 者 石津、出原、大下泉、小田、加藤、菊間、佐々木、田中一家(4)、  
八田、福永裕文、町一家(5)、松井秀樹、三村親子(2)、村井、  
八幡夫妻(2) (以上 24 名 うち 17 名)  
県庁職員を含む一般参加者 32 名、岳連参加者 7 名の総計 63 名

県庁山の会がお世話をする「第 13 回県民ハイキング（小室井山）」に、菊間会長から直接お声掛けをいただいたこともあり、私が所属する被爆者支援課からは、家族・関係者を含め 12 名が参加をしました。

職場内で声をかけると、男性よりも女性職員が好反応で、子供さんを含め積極的な参加がありました。田中部長も御家族で参加をされるなど、思わぬ被爆者支援課の職場リレーションのような展開となりました。

会場の「もみのき森林公園」には、植樹祭主催の NPO 法人ひろしま人と樹の会チャーターの送迎バスで向かいました。私は、バス班として、早めに集合場所の県庁北館前に行ったところ、既に、八田さん、松村さんが、てきぱきと受付手続きをされていました。ほぼ予定どおりに県庁を出発し、車内では、バス班 3 人で、楽しく、雰囲気盛り上げました。

もみのき森林公園では、石津さん、松井さん、三村さん、福永さん、出原さんなど会員の



皆さんから配布グッズや木札を受け取りました。開会行事として、山田県山岳連盟会長挨拶、菊間会長のコース等説明と小田さんのストレッチ体操、その後4班に分かれ、村井さんをしんがりに、小室井山山頂を目指しました。



当日は、自転車競技の大規模大会が開催されていたため、登山道は、自転車道との交差が最も少ない周回コースでした。森の中では「もみ」や「ぶな」の大木が散在し、時折、きのこやカエルにも出会いながら、ゆっくりと会話を楽しみながら頂上を目指しました。町さんのお嬢さんが、松村さんと一緒に頑張って登っておられました。

小室井山山頂では、NPO 法人「ひろしま人と樹の会」のお世話で、全員で「レンゲツツジ」を植林しました。植林場所は草を刈るなど、全ての準備を整えていただいていた。穴を掘り、苗木を植え、栄養のあるやわらかい土を加え、名札プレートを付け、水をしっかりと与え

て、苗木の無事な成長を願いました。



植樹の後は、記念写真を撮り、各自持参のお弁当で昼食をいただきました。

山頂に1時間近く滞在した後に、ゆっくりと下山を開始しました。

途中で、私の班の小学生の女の子が、横腹が痛いとのことでしたが、小田さん、佐々木さんが直ぐに救急対応をし、加藤さんが途中でまでおぶってくれました。途中からは予備で持参の2本のステックを用いて、何とか自分の足で、ふもとまで頑張って降りることができました。山の会会員の連携サポートはあざ



やかでした。

ほぼ予定どおりの日程で全員下山し、小田さんのストレッチ、菊間会長の挨拶で無事に閉会しました。

松井さん、大下さんをはじめ会員の皆さんが片づけ作業などをされている姿を横目に、一般の皆さんをバスに誘導しました。帰路のバスも、バス班 3 人で観光バスガイドの真似ごとをし、楽しく県庁に帰ることができました。

翌日の職場では、参加職員が写真を見せ合う

など、参加して楽しかった様子でした。今回の県民ハイキングと植樹祭は、子供さんを連れた族での参加と県庁山の会会員の連携したてきばきとした対応が印象的でした。お世話をいただいた皆さんありがとうございました。

(記：八幡 毅氏)

※この記録は、「広島県庁山の会通信」向けに書かれた「広島県庁山の会通信から転載」しています。

### 3. 番外編現場セミナー 森のフェステバルに参加して (10/1：日) 県立もみのき森林公園

恒例の森のフェステバルが 1 日、廿日市市吉和の県立もみのき森林公園であった。県内から 3,000 人が参加し、森のボランティア、ネイチャーゲーム、クラフトコーナーなど 9 つのプログラムを楽しんだ。この日は好天に恵まれ、イベント日和となった。

当会は、森林の整備（参加者 200 人）の指導者で 9 名が参加した。

参加者は、10 班に分かれた。1 班から 4 班と 7 班から 8 班、10 班が手ノコを使っての森林整備、5 班から 6 班、9 班はヤマモミジやレンゲツツジを植え付けた。

森の手入れでは、この使い方、徐間伐の方法の指導を受け、頭にヘルメット、腰にはノコを付けて山に入り、適当な間隔を取りながら 10 cm までの木を 1 本 1 本伐っていた。約 1 時間 30 分で森林内は見通しの良い憩いの森林空間となった。植樹は指導者から植え方の説明を受け、渡された高さ 30 cm のレンゲツツジの苗木を鍬やスコップで直径 20 cm 深さ 20 cm の植え穴を掘り

土壌改良材を土と混入させてから植付け、水を注いでいた。







メイン会場ではクラフトコーナー、ネイチャーゲーム、ロケット教室、ビザ作り、フラワーダンスと餅まきがあり、高原の初秋を満喫していた。

親子で参加した家族は、「子は初めての貴重な体験ができとても楽しかった。ツツジの花が咲くころまた来たい」と笑顔をはじけさせた。

報告者：櫻井充弘



#### 4. 番外編現場セミナー 千里の森手入れ (9/23:土・祝) 尾道市山波町

またもや行ってきました、千里の森です。

前回7月の草刈り以降、また草が植栽木を覆ってしまいました。今回は精鋭7人で5台の草刈り機を交代で使いながら、再びあの急斜面に挑みました。7月に刈り払って見えていたあの地面はどこに行ったのでしょうか。あの憎っきクズの茎や葉と再び格闘かと思うと、相当の気持ちが必要でした。しかも9月なのに暑いこと。風がちっとも吹かないのです。「ちいーたあ風が吹か んかのお。」とか言いながら草刈りに励みました。

途中、地元の岡田さんから今回はイチジクを差し入れていただきました。これがまた抜群においしかったです。さすがに尾道、県下で一番のイチジク産地。いくつも食べてしまいました。イチジクで充電して再度昼まで草刈りを頑張りました。岡田さんありがとうございました。

お昼は弁当をしっかりと食べ腹ごしらえをして、午後からは私は唯一残っていた1本の間伐に回りました。伐りにくいため最後まで残っていただけあって、変に曲がって、横には運搬用

モノレールのレールがあり、「どこへどうやって倒すんだ」みたいな 1 本でしたが、櫻井さんの助言もいただき、レールを直撃しないよう上をまたがせるように高伐りで処理しました。久々の伐採でしたが、まずまずの出来でした。急斜面でへろへろになりながらでしたが枝払い、玉切りも終わりました。その後さらに草刈りに復帰。何とか 3 時過ぎには作業を終えることが出来ました。参加者の皆さん、お疲れ様でした。



さて、ヒノキ林の中に植えたケヤキなどは多くが順調に育っているようですが、クズと格闘しているヤマモモなどの苗は枯れたものもたくさんあります。今後補植や施肥という作業も地道に続けないと立派な千里の森への道筋ができません。今後も繰り返し手入れの機会があると思いますので是非多くの会員の方の参加をお願いします。当面、次回は 11 月 3 日と聞いています。皆さんよろしくお願いします。

(報告者：神川勇人)



#### <事務局からのお知らせ>

●次の方から会費の納入がありました。(敬称略)

【個人会員】 中重 和郎 (平成 30 年度分)